



自治連だより

第38号

平成29年12月8日

発行：伊丹市自治会連合会

編集：広報委員会



管外研修会 開催報告について

平成29年9月28日～29日

福井県鯖江市・敦賀市他

鯖江市役所JK課
Saba City Office JK section

鯖江市役所JK課HPより
<http://sabaie-jk.jp/>



今年度の管外研修会では、福井県鯖江市と敦賀市を中心に視察研修を行ないました。

鯖江市が実施しているJK課プロジェクト（右画像参照）では、地域活動から最も遠い存在である高校生に自由な発想で地域づくりに参画してもらい、大人は一切口を挟まず助言者に徹するというものでした。予算が無い事から、町の事業者が資金や技術的支援を行うなど、地域全体での活動へと広がっている事が非常に参考となりました。

2日目に訪れた「人道の港 敦賀ムゼウム」は、杉原千畝（すぎはらちうね）が発給した命のビザを持ったユダヤ人難民や、ポーランドの戦争孤児を受け入れた当時の敦賀の人々の献身的な対応を記録していました。改めて日本人であることの誇りを感じ、心温まる思いでした。

（総務委員長 市川伊久雄）



自治会研修会 開催報告について（平成29年11月18日）



講師の小嶋先生

平成29年度自治会研修会をスワンホールにて開催し、125名の方にご参加いただきました。

「むこう三軒両どなりのコミュニティ」と題した講演では、伊丹では最近あまり聞かなくなった「隣保」を単位とした防災や地域包括ケアについて、具体例を交えながら紹介していただきました。講師の小嶋先生は県央の山間部で活動されており伊丹市とは環境が異なりますが、地域コミュニティ、とりわけ自治会活動においては隣保（組や班）単位での仕組みづくりが大きなポイントになるなど参考になる点が数多くありました。

第2部の懇親会には98名の方にご参加いただきました。今回からテーブルにブロックの標示を行ったことで、より会話が弾み、なごやかな雰囲気の中での懇親会となりました。

（総務委員長 市川伊久雄）

今年度の自治連だよりは、「自治会&地域活動をもっと身近に！」をコンセプトに、各地域の特色ある取り組みを紹介します。

今回は、以下の取り組みをご紹介します。

「防犯・防災ボランティア“I.D.S”」（有岡ブロック・ルネ伊丹ガーデンスクエア自治会）

「北野敬老祝賀会」（天神川ブロック・北野自治会）

「協力役員制度～持続可能な自治会を目指して～」（摂陽ブロック・泉町自治会）

2～3ページに掲載
是非ご覧下さい!!



防犯・防災ボランティア I.D.S の取り組み 有岡ブロック

ルネ伊丹ガーデンスクエア自治会

○自治会加入世帯数：223世帯（平成29年4月1日現在）

○会長：矢井 健二郎さん

※I.D.S.の名称
Independent（独立した）Disaster（災害）Security（安全）の頭文字を取ったもの



阪神・淡路大震災をきっかけに 自分たちのことは自分たちで

－“I.D.S”結成のきっかけは－

田：阪神・淡路大震災をきっかけに、自助はもちろんですが、共助が重要になってくると考えました。
いざという時に、自分たちのまちは自分たちで守るという思いで、2005年の9月に結成されました。
現在は20数名で活動しており、完全なボランティアで入隊・脱隊も自由です。

矢：I.D.S.のメンバーには、管理組合や自治会の役員を兼務されている方もいらっしゃいます。

－I.D.S ではどのような活動をされているのでしょうか－

田：マンションの消防防災訓練以外には、花火大会開催時の警備、年末の特別警戒等を行っています。

河：ほかに、登下校時の見守り活動にも協力しています。

－活動を継続していく秘訣は。今後の展望など教えて下さい－

田：自治会や管理組合は、役員を輪番制にしているので、継続性が課題となっています。

矢：過去には、自治会の役員の任期を2年に変更しようという声もあったのですが、アンケートの結果、反対の声が多くて実現しませんでした。

田：そういった事情もあって、I.D.S.が中心に自治会、管理組合と協力して各種事業を行っています。
今後の展望としては、非常時には若い力が必要となってくるので、学生によるI.D.S.のサポートチームのようなものを結成できたら良いかなと考えています。

荻：高畑自治会でも、若い男性の方にもっと参加してもらおうということで、男性部会を作ろうという動きがあります。
学生の方も、何かきっかけがあれば、参加してくれると思います。

田：そうですね、今後はそういったきっかけづくりもできたらと思っています。

インタビューにご協力いただいた方々

写真左から

1人目 瀬川 知子さん（管理組合 理事長）

2人目 河野 英子さん

（I.D.S.メンバー、民生委員・児童委員）

3人目 田中 均さん（I.D.S.代表・隊長）

5人目 矢井 健二郎さん

（ルネ伊丹ガーデンスクエア自治会会長）

インタビュー聞き手

写真左から4人目

荻野 秀雄さん

（有岡ブロック広報委員、高畑自治会会長）



（写真左）I.D.S.メンバー、自治会、管理組合共催で行われた消防防災訓練の様子



（写真右）災害時にかまどとして利用できる『防災かまどベンチ』が敷地内に設置されている。

北野敬老祝賀会（天神川ブロック・北野自治会）

○自治会加入世帯数：915世帯（平成29年4月1日現在）

○会長：佐藤 則義さん



桂團治郎の落語



二人羽織

平成29年9月17日（日）、北野自治会、恒例の「北野敬老祝賀会」をきららホールで開催しました。

当日、台風の影響が心配されましたが、元気いっぱいの75名の高齢者の皆様に参加され、来賓・関係者を含め112名で祝賀会を行いました。

祝賀会では、桂團治郎の落語や女子会メンバーによる二人羽織などの演芸が披露され、会場は笑いに包まれました。

また、心のこもった、手作りの料理も振る舞われ、参加者は楽しく過ごされていました。

これからも皆様、お元気で健やかにお過ごし下さい。

（北野自治会 会長 佐藤則義）



泉町子ども神輿

「協力役員制度」

～持続可能な自治会を目指して～

摂陽ブロック・泉町自治会

- 自治会加入世帯数：474世帯（平成29年4月1日現在）
- 会長：矢野 誠治さん



インタビューにご協力いただいた
矢野誠治さん（写真右）
インタビュー聞き手（摂陽ブロック広報委員）
高石精治さん（昆陽双葉南自治会会長）（写真左）

「無理なく、できることを、できる時に、できる範囲で」
「できない時は遠慮なく断ることができる」仕組みに

－「協力役員制度」はどういった制度なんですか－

矢：自治会の役員構成は三役・理事29名、協力役員62名、班長38名です。そのうち、理事（専門部担当）は各丁目から男女1名ずつ選出し、16名の理事がいます。任期は1年で、任期後は1年間協力役員となります。その後も可能な方には協力役員として残っていただきます。その他の会員の方で個別にお願いして協力役員を引き受けていただく場合があります。（協力役員設置規程）

－協力役員はどういう活動をされているんですか－

矢：まず前提として、会議出席はありません。
人手が必要な限られた事業（盆踊り、子ども神輿、泉町フラワロードの清掃、年末警戒パトロール等）の手伝いのみで、自治会から要請をして、参加できる方だけに協力いただいています。参加は強制ではありませんが、協力役員のサポートのおかげで円滑な事業実施ができています。

－この制度のきっかけとなることは何かあったんですか－

矢：制度は平成6年からスタートしました。
それまでは、会長を除いて理事は総入れ替えでした。会長がいないうちは、新しい理事はどのように運営すればよいかわからなくなる。また、役員を退いた後に、アドバイスしようにも無役だと、何の権限があるのかと言われ、アドバイスしにくい、一方、現役員も退任された方からの協力を得にくい等、双方にとって好ましくない状況でした。そのため、制度を作って、協力役員の位置付けを明確にしました。協力役員が役職を得たことにより、活動に協力したい人は動きやすくなったと思います。但し、運営の責任は現役員が負うことで主体性は失わないように気をつけています。



緑化地域整備活動

協力役員は自治会役員と同じ赤い帽子を着用
一体感を持ってもらえるよう工夫している

【協力役員数のイメージ】

29年度	30年度	31年度	32年度
理事	協力役員（規約上必須）	協力役員 （役員経験者・希望者等）	協力役員 （役員経験者・希望者等）
		協力役員（規約上必須）	協力役員 （役員経験者・希望者等）
		理事	協力役員（規約上必須）
			理事

現在の協力役員数は62名で毎年1～2割は入れ替わる。
毎年、理事・協力役員が連携しての事業実施となる。

ポイントは自治会活動の「見える化・負担の軽減・役割の明確化」



広報誌「いずみ通信」
今年で累計250号を超える発行となった
初号発行から20年以上続く

－自治会活動を継続する上で重要と考えていることは何ですか－

矢：ポイントは自治会活動の「見える化・負担の軽減・役割の明確化」だと思います。

“見える化”については、自治会の広報誌である「いずみ通信」（左写真参照）を月1回発行しており、自治会がどのような活動をしているか、知ってもらえるよう取り組んでいます。“負担の軽減”は、役員選出方法の簡素化や、活動内容の見直し等で軽減できないか常に模索しています。“役割の明確化”は、役職毎での業務の線引きをはっきりするようにしています。線引きが曖昧で役員があれもこれもやるということはやめました。

－ポイントも明確ですね。自治会員のみなさんからの反応はどうですか－

矢：役員がしんどいというイメージではなく、そんなにしんどくないから大丈夫という感じで受け取ってもらえているのではと感じています。
年齢等を考慮して、こちらからはお願いしなかった高齢の方でも「できるからやるよ」と申し出いただくこともありました。結果的に自治会を退会する人が少なく、加入率は96%です。ただし、高齢化率は41%と高いため、今後の課題として取り組んでいかないとはいけません。



年末警戒パトロール

自治会連合会の取り組みについて（事業報告）

ブロック長会 先進市視察（明石市） （9月20日）

この視察研修は、課題となっている自治会の加入率低下等について先進自治体を視察し、取り組み事例等を学ぶため開催されました。



当日は明石市連合まちづくり協議会の役員の方々から、マンション等、集合住宅への自治会加入アプローチ手法や自治会加入促進マニュアルの作成等について話を聞きました。



明石市においてもすぐに効果が出るという取り組みではありませんでしたが、地道に活動されており、今後の取り組みの参考となるものでした。

環境委員会視察研修（10月5日）

視察研修では、山崎産業株式会社と野村興産関西工場を訪れました。



山崎産業株式会社では、屋上緑化用植物栽培マットを生産し、側面緑化・屋上良化を推進することにより、環境保全に正面から取り組んでいる企業です。



野村興産関西工場は、電池や蛍光灯、体温計等を全国の自治体等と連携、回収し、日本で唯一水銀のリサイクルを行っている業者です。

リサイクルされた水銀やガラスは工芸品や水銀製品等、様々な用途で使用されております。今後の伊丹市と野村興産との連携をお願いしました。（副委員長 勝野正己）

生活安全委員会

街頭啓発キャンペーン（10月9日）

今年も「体育の日のつどい」の日に「自転車安全運転啓発活動」として、アンケート調査を行いました。ご協力いただきありがとうございました。



多くの方が自転車を利用しており、市民の移動手段としての重要度が高まっております。近年減少傾向にありました自転車関係の事故も増加しております。



伊丹市では自転車専用レーンの設置が進んでおりますが、事故が後を絶たない状況にあります。自転車を利用する一人ひとりが交通ルールを守り、安全安心なまちにしていきたいと思います。（委員長 宮内正次）

福祉委員会視察研修（10月20日）

視察研修では、姫路市の「NPO法人はなのいえ」を訪れました。



「はなのいえ」は、「地域と共に支える力を高める」との理念のもと、富山型デイサービスや就労継続支援のレストラン、農園等を展開。地域との繋がりが無くなっていく人に対し、地域と連携し、地域の中で安心して活動できる様、ネットワークづくりを進めています。



今住んでいる所で、その人らしく暮らせる環境づくりに取り組んでおられ、大いに参考になる事例でした。

伊丹市では、サロンの立ち上げや運営に苦慮している自治会もあり、活発な意見交換が行われ、有意義な視察研修となりました。（委員長 伴博夫）

兵庫県連合自治会大会受賞者紹介

第48回兵庫県連合自治会大会（11月22日開催、会場：たつの市）にて、兵庫県自治賞4名、県連会長表彰10名が表彰されました。受賞者の皆様おめでとうございます。※敬称略、（ ）はブロック名

【兵庫県自治賞】

（自治会長歴通算10年以上）

藤井一成 以タージュ伊丹自治会長（伊丹）
西村哲雄 伊丹東宝ハイツ自治会長（稲野）
本田敏雄 稲野東自治会長（南）
宮内正次 笹北自治会長（笹原）

【県連会長表彰】（自治会長歴通算5年以上）

古賀園男 伊丹レックスマンション自治会長（伊丹）
木村直之 ヲーブ野村昆陽自治会長（稲野）
濱野克英 柏木町自治会長（南）
池本光正 第一美鈴自治会長（鈴原）
黒見美智子 ビア・ア・バノ自治会長（笹原）
竹本幸夫 市営桑津住宅自治会長（神津）
喜多伸介 北園自治会長（緑丘）
新川政夫 シャルメーホ伊丹自治会長（桜台）
大川伸氏 西野第3鉄筋自治会前会長（池尻）
中村満義 池尻北東部自治会長（池尻）



三役と受賞者の皆様